

私の“舞台裏”

ヴァイオリニスト 椿太陽



コンサート前日

その日の仕事が終わわり、ヴァイオリンをケースに仕舞う前にE線（一番高い音が出る細い弦）を新品に交換する。E線は良い音が出る期間がとても短い上に切れやすいので、これは必ず行う儀式である。1日に二公演あるときは、公演の合間に替えることもある。

張り替えた後はヴァイオリンを丁寧に磨き、ケースに納める。

帰宅したらゆっくり湯船に浸かる。演奏するとき、どこかに無駄な力が入っていると美しい音が出ないので、身体を温めて筋肉をほぐすことはとても大事である。お風呂からあがったら、好きな演奏家のCDを聴く。グリユミオー、エルマン・・・。そのときの気分によって選ぶ。CDを聴きながら眠りにつく。

コンサート当日

朝起きてシャワーを浴び、目を覚ます。マチネ（昼公演）のときは衣装を準備し、すぐに出発。ソワレ（夜公演）のときは、音階を弾いて楽器を鳴らす。

会場入りしたらまず楽屋へ。楽屋は演奏家にとってその日の自分の部屋になる。ヴァイオリンケースを置き、衣装をかけて、荷物を置く。くつろぎやすいようにソファやテーブルの位置を変えることもある。楽屋はリラックスできる空間でなければいけない！

ケースからヴァイオリンを出したらステージへ。まずピアノの置く場所を決める。私はいつも鍵盤がセンターになる位置に置いて頂く。ヴァイオリニストはピアニストより下手側に立たなくてはいけないので、この場所が一番良い。

そしてリハーサル。私は時間が許す限り全曲通す。ホールの響きに合わせて、テンポなど弾き方を調整しなくてはならないからだ。

一通りリハーサルが終わったら楽屋に戻りくつろぐ。食事をしたり、友だちとメールしたりして過ごす。

開演15分前には着替えを済ませ、ステマネが呼びにくるのを待つ。

そしていよいよ本番直前。緊張とワクワクが交差する。ステマネの「お願いします」の声に合わせ、ステージに足を踏み入れる。

楽しい音楽の時間のはじまりだ！身も心も自由になれる至福の時。

公演情報

♪ 椿太陽 Valentine Mini Concert

2016年2月14日（日）14:00 開演
東京 日暮里サニーホールコンサートサロン
全席自由 大人 2500円
小学生以下（未就学児可）1000円

♪ 齋藤恵理 & 椿太陽 デュオ・リサイタル

2016年4月9日（土）18:00 開演
東京 日暮里サニーホールコンサートサロン
全席自由 3000円（当日3500円）

■ お問い合わせ：一般社団法人 東京国際芸術協会

☎03-6806-7108 FAX 03-3806-8555

<http://www.tiaa-jp.com>



椿太陽公式サイト <http://taiyotsubaki.com> →

